



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

R.I 会長 クレム・レスーフ

第 15 回 例会 1977 年 10 月 5 日 (木) 雨 第 21 号

出席報告

出席者数	出席率	出席率	前回の修正
25 名	21 名	91.3%	100 %
出席者 蜂屋 宮之原			

矢野会長テーマ 友情の輪をひろげよう

司 会 長 谷 川 幹 事

ゲスト

石渡三郎パストガバナー, 星 特別代表

ビジター

小嶋光雄君 (町田), 青木広吉君, 堀口彦次君, 河野重康君, 大石芳文君, 四元頼信君 (大和)

会長報告

長谷川幹事代行

- ・蜂屋副会長が自宅前の階段で足を踏み外して怪我をされまして今週一杯休んだら出社できると思います, という連絡をいただきました。
- ・9月29日午後6時より富久水に, 米国海軍厚木航空施設司令官ジェームス, E, ドゥーリトルご夫妻をお招きして, 当クラブ創立のご挨拶をしました。なお, 通訳は大和クラブの小武徹郎氏のご協力をいただきました。
- ・蔵並ガバナーより地区年次大会出席についてお礼状が届いております。

幹事報告

- ・1979年の壁掛用ロータリーカレンダーと卓上用

ロータリーダイアリーの注文案内がきております。ご希望の方はご注文下さい。

- ・例会終了後臨時理事会を開催いたします。理事, 役員の方はご出席をお願いします。
- ・先週社会奉仕委員会からお話がありました「我々が出来る社会奉仕とは」についてのご提案が余り出ていない様です。ふるってお出し下さい。

委員会報告

親睦活動委員会 猪熊委員長

- ・本日は次の方のお祝がございませう。
- 結婚記念日 寺田伍六君 (10月10日)
- ・10月29日の家族会について一部手ちがいがございまして, 全員の方が申し込まれた後, 会費を計算して集めます。申し込み用紙は当方にごありますので, 本日全員の方の申し込みが終了するようお願いいたします。従って会費は来週集めますのでご用意下さい。

本日のプログラム (10月12日)

クラブフォーラム「社会奉仕について」

次週予定 (10月19日)

イニシエーションスピーチ 小菅君 松本君

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央 1-5-40
及び 大和市商工会館内
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より
会長 : 矢野久元 副会長 : 蜂屋良平
幹事 : 長谷川清一 会報委員 : 土屋・那可

卓話

ゲストスピーカー 石渡三郎バストガバナー

紹介：星 特別代表

石渡さんは昭和12年慶応大学法学部を御卒業された後、横須賀で酒類販売(堀田本店)をされておられ、昭和26年横須賀RCが創立された時から創立会員としてご活躍され、1976~77年の地区ガバナーを勤められた方です。今年度は地区諮問委員会の社会奉仕担当委員をされておられます。

今日は社会奉仕についてお話を伺います。

只今ご紹介頂きました様に私はロータリー歴は昭和26年からですから約27年間と長いのですが、今日こちらを訪問させていただき、大変なごやかな雰囲気、とても新クラブとは思えない程です。

私は38才の時にRCに入会した訳ですが、当時は年令の高い人達が多く、親父の様な人達ばかりでとても嫌でした。創立2年目で幹事になり、止めるに止められなくなってしまいました。何度か例会を欠席しようかと思いましたが、何となく引きつけられるものがあり、今日に至っています。

私が入会した当時は今のように文献がなく、ガバナー公式訪問が唯一の勉強の機会でした。又神奈川県には3つのクラブしかなく、東京へ行く会合が多く、東京へは全国から集って来ますが人数も非常に少ない。ある時会長代理として出席しましたがスピーチが全部英語でなされ、話の内容がさっぱり分らない。そんな苦勞をした事もあります。

さてRCにお入りになりお感じの事と存じますが、出席が厳しい事です。これはロータリーは奉仕団体であり4大奉仕をうたっていますが、中でもクラブ奉仕が大切であり、お互い深い継りがあるこそロータリーの奉仕が出来るのだと思います。楽しいクラブであるように、又楽しみのあるクラブであるようなる為にクラブ奉仕があります。

今月のロータリーの友に入江バストガバナーがイギリスの地区大会に参加されたご感想を書かれておりますが、「楽しみ乍ら地区大会を行っている。日本では勉強させられる地区大会である。楽

しむ地区大会であっても良いのではないか。」と提案されています。しかし私共のクラブは只楽しむだけに集っている訳ではありませんで、その存在が地域に対して意義がなければなりません。

ロータリーに於ける社会奉仕とは一体何であるか、「ロータリーの目的は奉仕の理想を遂行することにある」となっていますが、自分の欲望を満すだけでなく社会に対して何かしようとする気持を引き出し易くすること、つまりRCは人間形成の場であるだけでなく、お互に足りないところを補い合って、社会にむけての奉仕の力を出し易くする場である訳です。RCの社会奉仕についてはいろいろの規制された面があります。手続要覧の社会奉仕の項を見ますと次の様に書かれています。「個々のRCが、その社会奉仕活動を選定することについては、別に規定はないが、指針として次の規則が示唆されている。」とありその中に、——ロータリークラブは、その努力の重複を避けるべきであり原則として他の機関によって既に立派に行なわれている事業に従事すべきでない——とあります。場合によっては重複しても良いのではないか、又側面的に手伝うことがあっても良いのではないか、という意見もよくありますが、前記のような規則があるという事を覚えておいて下さい。

一般に社会奉仕と言いますと、お金で片をつける事になりがちですが、安易な方法でありますがよくありません。心のこもった、直接手を下して行う事が大切です。

ロータリーには「意義ある功績賞」というのがあります。地区の4名の委員が、各クラブの社会奉仕活動を見て、実を挙げているクラブをR.I.へ報告します。R.I.が認めて表彰をするものです。昨年旭RCがその前々年は平塚RCが受賞しています。いずれのクラブも各人が労働奉仕をして、青年の森や青少年会館内に日本庭園を造り上げたものです。このクラブにあっても、今年は無理としても今後この様な名誉ある仕事もありますので意義のある奉仕をして下さい。

Charter Member's Profile



伊藤 会員

伊藤英夫さんは昭和13年3月、茅ヶ崎の醤油屋の次男として生まれる。高校2年の時、当時交通安全会長（現在の交通安全協会々長）だった父君が、こともあろうに交通事故で亡られ、一時は大学進学をあきらめようとしたが、お兄様の助言で法政大学に進む。

昭和35年大和へ籍を移し、37年御結婚され大和在住になる。実家のカギサンはお兄様で4代目とか。

—早速ですが“カギサン”という名前ですが

「この屋号の由来は実は良く知らないのです。カギは鍵の事だろうと思います。昔から大切にしたものとして……。あとのサンは祖父も父も名前“三”が付いていますから初代からの名前をとってつけたものと思います。」

—酒屋さんは何時から……？

「結婚して大和へ来まして……。それまでは茅ヶ崎で兄の手伝いをしており、御承知のように、酒屋は免許が要りますので免許がおりるのを待って開業しました。」

—ところでRCに入会されていかゞですか？

「RCについては兄が茅ヶ崎のチャーターメンバーですし、母からも良いクラブだと言われておりましたので、抵抗なく入会出来ました。又私の様に小売店をやっておりますと、同業の人達としか交流出来ない。つまり井の中の蛙です。こうしてそれぞれ違った職業の方とお付き合い出来ることは大変嬉しい事です。」

—出席委員長としてひと言……。

「お陰様で現在100%を保持していますが…楽しい例会であり、自発的に出席するような気持ちを生み出すこと、これが大切だと思いますし、そんな気持ちを持たせることも出席委員長の務めだと考えています。もちろんこれはクラブ奉仕の方々全員が心掛けておられること、思いますが……。」

—たしかに楽しい例会にすることが必要だと思いますが、今後どうしたら良いとお考えですか……？

「先ず会員を40～50名くらいに増強することそして例会の雰囲気も大切ですが、会社でしたら囲りの人達、お店や家庭では御夫人方にロータリーをよく理解して頂くこと、ロータリーはこんなことをやっているとお教えしてあげようになることが大切です、結果的には出席する事が楽しくなるのではないのでしょうか。」

—伊藤さんは青少年指導員をされていると伺いましたが……？

「声をかけ合おう”を合言葉に地域の子供達を集めて主に夏休みを利用して、男子にはソフトボール、女子にはドッジボール大会をやっています。又2年前からPTAの方と相談して小学校6年生約40人をコココーラ工場、海老名の農業試験場の見学をやっています。」

青少年奉仕活動を2年前からされている伊藤さん、来年はRC青少年奉仕委員長として特定の地域に限らず、大和市いや神奈川県全体の青少年のために活躍されることを期待しています。どうもありがとうございました。

(土屋会報委員)



臨時理事会報告

昭和53年10月5日例会終了後1時40分より例会場別室において臨時理事会が開催されたことが決まりました。

- 明年開催される予定のIGFへ提出するテーマを、「ロータリーの心を知るには、それを知らせるには、」としました。
- 会員候補者に対する職業分類並びに会員選考両委員会の勧告事項を審査した結果、承認いたしました。
- 研究グループ交換の分担金の支出について種々検討した結果、皆様に據出をお願いすることになりました。(1人当たり負担額は¥1,500-)

ロータリー情報

Group Study Exchange 研究グループ交換

ロータリー財団の教育プログラムの1つ。5名の青年社会人(25~35才)にガバナーの代理として1名のロータリアンをリーダーとして6名でチームを組む。国を異にする地区と相互に交換して、社会的な勉強をし、更に国際理解を深める。

相手国に滞在する期間は、はじめ2ヶ月であったが、その後1ヶ月以上2ヶ月までと改められた。2つの年度にわたり両地区交互に交換する。

地区は地区協議会又は地区大会の決議によるか又は郵便投票で地区内の2/3が承認してきめる。

—松前RC手引書より—

ロータリー財団研究グループ交換は次の三つの目的のために計画された教育的プログラムである：

- a) 優秀な青年実業人並びに専門職業人に、関係国内において計画準備された研究討論プログラムに参加することによって、他の国とその国民並びに諸施設とを研究する機会を与えるため：
- b) 善意の人々が、友好的雰囲気のもとに相会し、語り合い、生活を共にして、相互の問題や抱負を理解するようになり、かくして個人

的接触を永続する友情へと成熟させることにより国際理解を増進するため：

- c) 研究グループのチームのために教育的プログラムを作成し、又彼等を歓迎することによって、ロータリアンを、特殊な、実際的かつ有意義な国際奉仕計画に参加させるため。

(手続要覧75年版P 204より)

国際奉仕 — 情報抄録8月号より —

「私は国際ロータリーがもっているような人の出会いというものについての観念を心からりっぱだと信じているが、それとは正反対に、私は政治的な鉄の盟約とか同盟とかいったようなものを信用しない。同盟も、協約も、利害を異にし、また、お互いの気持の触れ合いもないような国どうしを親密な間柄にすることはできない。ところが、国民がお互いに相手に対して理解を持ち、共感を抱いている国どうしの政府の間には、同盟などといったものは必要でない。国際ロータリーをつくりあげているような人と人との触れ合いは、必ずや相互理解を促進する力になることと思う。

—テオドール・ルーズベルト

スマイルBOX

石渡三郎バスターガバナー、初めて伺わせていただきました。貴クラブが今後増々御発展をお祈り申し上げます。

大和RC 青木会員 何時もお世話になります。

大和RC 堀口会員 初めてお伺いしましたので

大和RC 河野会員 御伺い致しました宜しく。

大和RC 大石会員 何時もお世話になります。

大和RC 四元会員 メークアップするのに便利になりました。これからもお世話になります。

寺田会員 結婚記念日

私もビックリ、女房も？ 思い出します……ありがとうございます。

上田会員 似顔絵よく似ています。こんなにハゲていましたかね？ いつもながらの土屋さんの文筆の軽快なタッチと行動力に対し敬意を表します。